

公安委員会の開催概要

公安委員会は、令和8年7月30日（木）に開催された。

1 決裁事項

- ・公安委員会宛て文書への対応について

2 報告事項

(1) 懲戒処分及び監督上の措置状況について（令和8年上半期）

県警察から令和8年上半期における懲戒処分及び監督上の措置状況に関する報告があった。

委員から、「非違事案の発生する背景や原因を分析し、再発防止に確実ににつなげていただきたい。警察は県民の信頼があってこそ、その使命を果たすことができることを忘れずに、信頼を守るために職員同士で声を掛け合い、小さな変化や悩みを見逃さない組織作りを引き続きお願いする。」との発言があった。

(2) 東北管区警察局による監察の受監結果について（令和8年度上半期）

県警察から、令和8年6月15日、16日に行われた、東北管区警察局による監察の受監結果に関する報告があった。

委員から、「今回評価された取組を一過性のものとせず、継続的に改善を重ねながら、組織全体に定着するように取り組んでいただきたい。」との発言があった。

(3) 「地域の安全・安心」に関する協定締結式の開催について ～株式会社秋田ケーブルテレビと秋田県警察～

県警察から、株式会社秋田ケーブルテレビとの「地域の安全・安心」に関する協定の締結式の開催について報告があった。

令和8年8月5日、警察本部において、特殊詐欺を始めとした犯罪被害の防止に関する広報活動を推進するとともに、防犯カメラの設置を促進するなど、県民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指すことを目的として、株式会社秋田ケーブルテレビと「地域の安全・安心」に関する協定を締結したとのことであった。

委員から、「情報は発信するだけでなく、県民に伝わるのが大切である。年代や生活環境に応じて、テレビだけでなくSNSも活用しながら、一人でも多くの県民の

防犯意識向上につながるような取組をお願いする。」との発言があった。

(4) 犯罪情勢等について（令和８年上半期）

県警察から、令和８年上半期における犯罪情勢と無施錠対策に関する報告があった。

刑法犯の認知状況（暫定値）について、認知件数は1,157件と前年同期より42件増加。検挙率は62.7%で、前年同期より８ポイント上昇した。

自転車盗難被害の無施錠率は、全国と比較して高い現状にあることから、今後も総合的な無施錠対策を推進していくとのことであった。

委員から、「刑法犯の認知件数が増えているものの、検挙率が増加していることはすばらしいことで、日々警察の方々が頑張ってくれていることが伝わった。」、「数値のみにとらわれてしまうと、必ずどこかに歪みが出てしまうことから、その点に注意して、手段と結果との関係性を取り違えないようにしていただきたい。」との発言があった。

(5) 夏の交通安全運動の実施結果について（令和８年）

県警察から、令和８年夏の交通安全運動の実施結果に関する報告があった。

期間中の交通事故発生件数は25件、死傷者数は、死者数１人、負傷者数27人、重傷者数４人で、重傷者数を除くいずれの項目も増加した。

今後も引き続き、交通事故防止のための各種取組を推進するとのことであった。

委員から、「パトカーによる見える警戒を行っていただき、安全な交通ルールが身につく指導をお願いする。」、「今後も考えられるいろいろな手段・方法を通して、交通事故防止の意識向上につなげていただきたい。」との発言があった。